

## 北区細江町中川における水質事故(濃硫酸流出)について【第2報】

昨日(8月16日)正午、浜松市北区細江町中川地内の事業所から濃硫酸が漏洩した事故について、現在までの対応状況等について報告します。

## 1 漏洩地点及び流出量

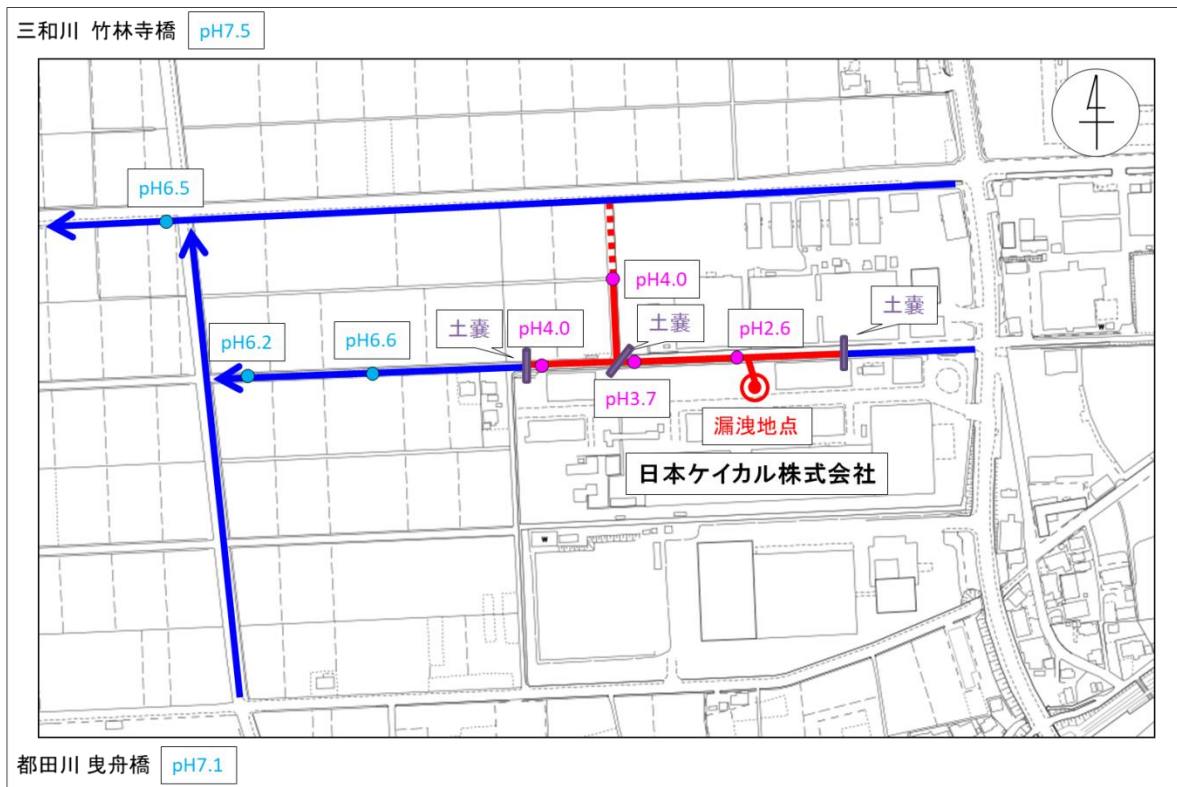
事業場敷地内に最大で約1,900kg(約1,000リットル)がタンク(配管)から流出して土壤に浸透し、その一部が隣接の水路へと漏出しました。

※当初の調査では1,900リットルという認識でしたが、正しくは1,900kgでした。

## 2 現在の汚染範囲

周辺水路等のpH(水素イオン濃度)を測定した結果は以下のとおりです。赤で示した部分はpHが低いため、近付かないようにしてください。

都田川、三和川及び祝田北川のpHは正常範囲でした。



※pHは7で中性であり、1に近いほど酸性が強く、14に近いほどアルカリ性が強い。  
pH6.5~8.5が河川の一般的な数値です。

### 3 対応内容

#### 【8月16日(火)】

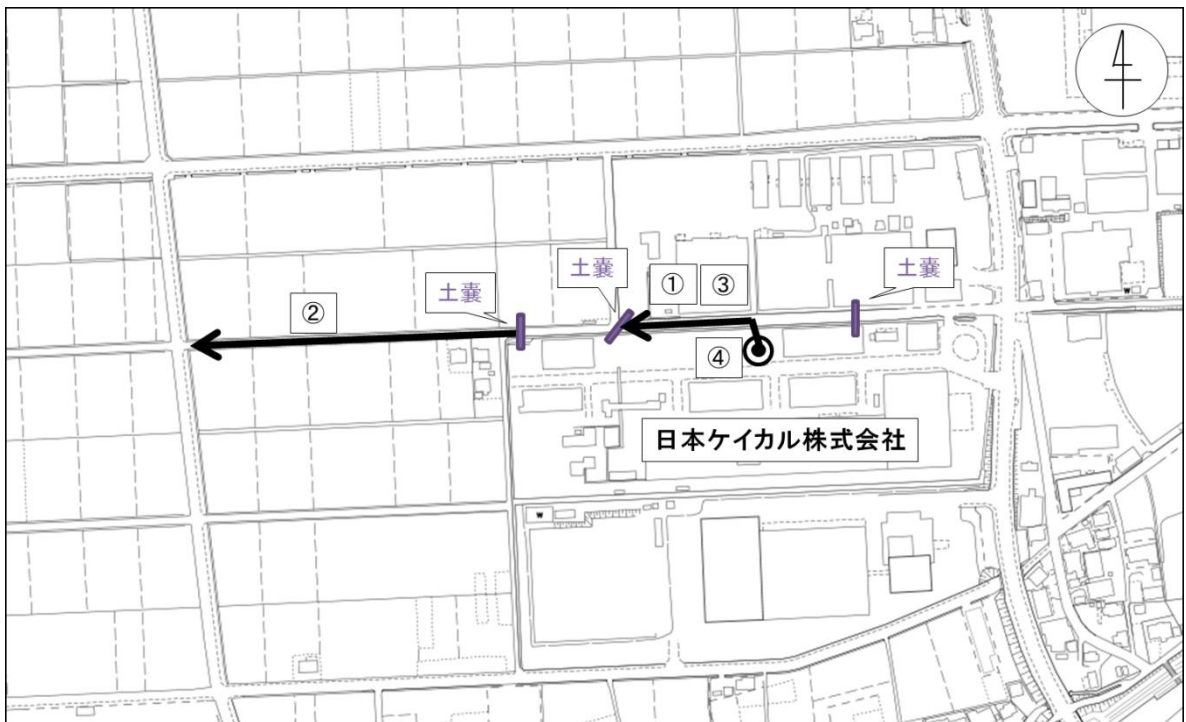
- ・事業所北側の水路を土嚢でせき止め、水路内の水をバキュームにて吸引(10トン車1台分)。(①)
- ・土嚢より下流側の水路に加水し、pHを中性付近にして放流。(②)
- ・現場水路をビニルテープやロープで囲み、立ち入れないようにした。(③)
- ・漏洩した箇所(④)の土壌の表層数センチメートルを掘削し、石灰を散布した。(④)

#### 【8月17日(水)】

- ・事業所北側の水路内の水をポンプで吸い上げ、事業所内の中和槽にて中和処理し、事業所外に放流。(①)
- ・事業所北側の水路内の水をバキュームにて吸引(5トン車1台分)。(①)
- ・現場水路に立ち入りを禁止する表示を設置。(③)
- ・土壌を掘削し、地下浸透している範囲を確認しながら除去。(④)

#### 【今後の対応】

- ・事業所北側通路のpHが正常範囲に戻るまで、水路内の水を回収する。
- ・汚染土壌を掘削し、産業廃棄物として処分する。
- ・敷地内をボーリング調査し、地下浸透の汚染範囲を確認する。



#### 4 健康被害、周辺への影響等

これまでに健康被害の報告はありません。また、周辺の農作物、水生生物への悪影響は確認されていません。

本日は報道対応のため18:30まで待機しております。

事業者の対応等の詳細については事業者に直接お問い合わせください。

連絡先：日本ケイカル株式会社 業務部 業務課（電話番号:053-522-1911）